

まちなか再生事業の取組状況

8月から10月までのまちなか再生事業の取組状況を報告します。

8月は、大学の夏休みを利用して、学生が町に滞在しながら多くの事業に取り組みとともに、町民との交流を行いました。

夏休み期間中の大学生等の滞在状況

- 筑波大学津別在駐事務所（役場内に事務所仮設）
8月10日（月）～9月6日（日）4週間
2名が交互に3週間ずつ滞在
- 筑波大学社会工学域 大澤研究室ゼミ合宿
8月21日（金）～8月31日（火）11日間
15名：合計175泊
- 小樽商科大学商学部 大津研究室ゼミ合宿
8月29日（土）～9月2日（水）5日間
14名：合計55泊

高大連携事業ワークショップ

8月22日（土）～23日（日）に、津別高校と筑波大学の連携事業として、街を歩き、ワークショップを行いました。グループ毎の取組や発表内容を投票を行い、上位2チーム（1、2班）が11月8日に筑波大学学園祭で

の高大連携シンポジウムに派遣され、発表を行うことになっていきます。

※ワークショップとは：学びや創造、問題解決の手法で、グループ毎に進行役を中心に行う、自由な話し合いの事です。



ワークショップの様子



高大連携事業発表会後の記念撮影

高大連携事業の内容

- 津別高校生参加者 15名（4グループ）
- グループワーク テーマ内容等
- 1班：津別高校魅力UP大作戦
中・高連携ワークショップの実施など
- 2班：帰りたい町：あったか津別が待っている
空き家を活用してにぎわいを取り戻すなど
- 3班、4班：まちづくりマップ作成
・未耐震化施設解消と街灯配置で治安向上
・空き家・空き店舗活用でにぎわい向上



8月29日（土）、まちなか再生協議会と筑波大学によるワークショップを、人口減少と地方創生への取組をテーマに行いました。



まちなか再生協議会&筑波大ワークショップ

- 1班：みんなのふるさと～遡上するさけの如く～
住宅、空き家活用などによりUターンを含め新しい人の流れをつくりまちおこし
- 2班：身の丈にあったまち、津別
エネルギーの自給自足でまちおこし
- 3班：ダイバーシティ（多様性）＜留学生チーム＞
外国人が集まり、移住し、まちおこし
- 4班：夢を叶える聖地、つべつ＜学生チーム＞
教育に重点特化して、まちおこし



27日（木）の予備日にも2グループで別途ワークショップを実施し、いつまでも暮らしたい町へ誰かを連れてきたい「ちよこつと暮らし（微住）」、ウエルカムな町つべつをめざす！働きやすい、住みやすい、人を受け入れやすい町であることが重要であるとまとめました。

その他の8月の取組

- 小樽商科大学によるソトモノ目線での津別町のまちづくり研究
- 筑波大学による各種調査研究への取組
 - ・スポーツ合宿と地域活性化
 - ・ゼミ合宿と地域活性化
 - ・空き家調査、道の駅調査、給油調査
 - ・域内経済循環調査、照度調査
 - ・道路看板調査…など

第5回まちなか再生協議会

9月25日（金）開催の協議会は、石田東生（はるお）教授により地方創生とシニク・バイウエイをテーマに講演いただいた後、話し合いの時間を持ちました。車の移動を制限し観

まちなか再生支援事業アドバイザリーボード現地会議

10月9日（金）に、事業の助成元のふるさと財団主催の現地会議が行われました。



これまでのまちなか再生事業の取組を町と筑波大学から報告し、ふるさと財団のアドバイザーのアドバイザリー委員より様々なアドバイスをいただきました。



光価値を高める、シニク・バイウエイの魅力発掘を行うにあたっては、「演出」が大事になる、ニセコのラフテイニングでは参加者に時計をはずしてもらって、「時間を忘れてもらう」

今後のまちなか再生事業予定

- 11月13日（金） 集合住宅、土地利用、市民協働
- 12月5日（金） オープン・タ、IT
- 2月5日（金） 防犯、公園
- ※いずれも、「さんさん館」で18時30分より上記テーマで一般公開で開催します。
- ◎1月22日（金） まちづくりシンポジウム「中央公民館」18時30分より

※まちなか再生事業は、一般公開で実施しています。是非、ご参加ください。町のホームページやfacebook bookでも情報公開しています。左記のQRコードより是非アクセスしてください。



まちなか再生事業HP
(津別町HP内)QRコード



津別町まちなか再生協議会
facebook
facebook - QRコード